

1 授業研究部

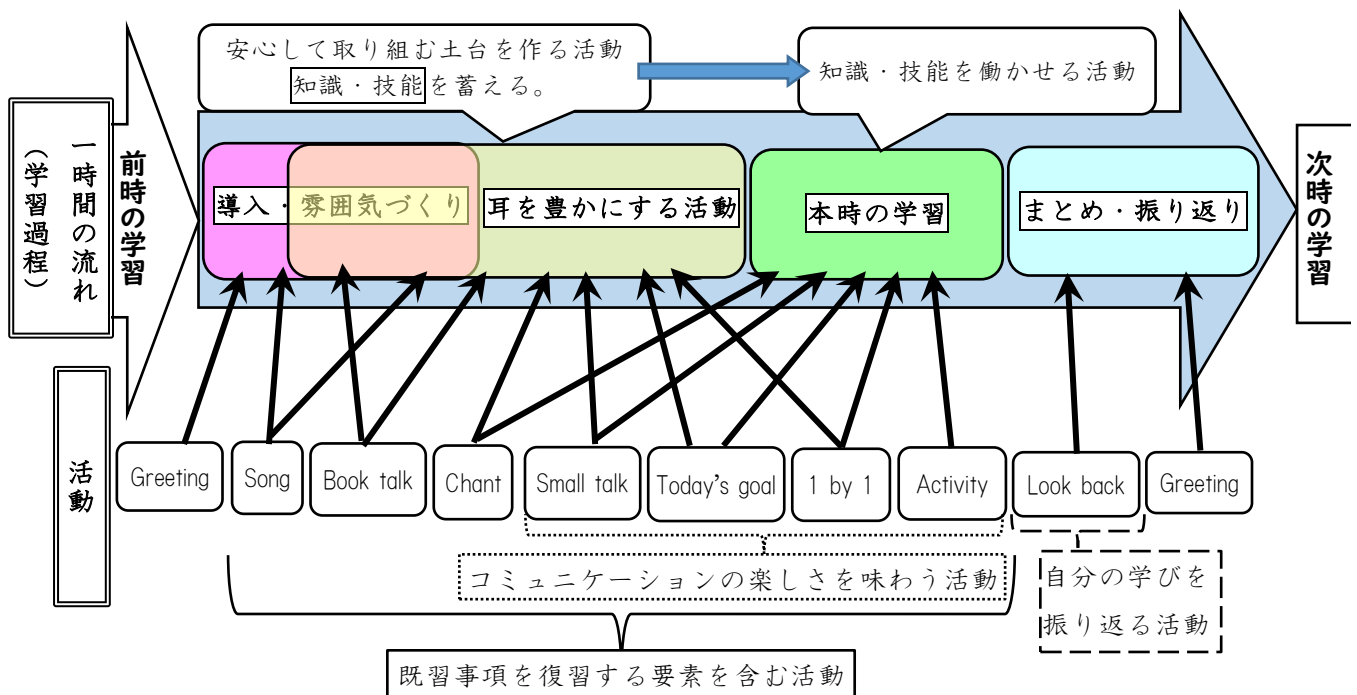
【目的】

児童が「進んでコミュニケーションを図ろうとする」ようになる為の授業改善に取り組み、課題を解決する授業スタイルを構築することを目的とする。

【取り組み】

(1) 授業スタイルの構築・改善と統一

高根小の課題を解決するために令和元年度の授業研究を重ねて授業スタイルを構築した。令和2年度は、授業展開のどの段階でどのような活動を取り入れれば、より児童のコミュニケーションをとろうとする意欲につながるのかを検討し、実践してきた。これを全学級で統一することで児童がコミュニケーションを図ろうとする授業を実現する。



※ 単元計画、本時の目標及び評価規準をもとに、1時間の授業を構成する。

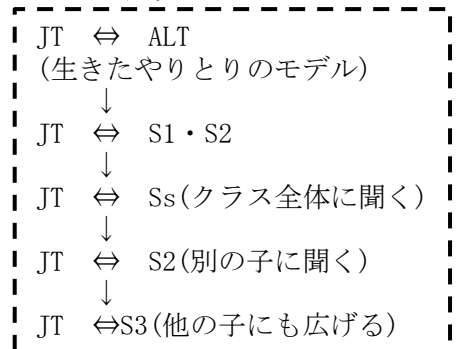
① 「Small Talk」について

ア やり取りのポイント

- (ア) 個と全体への問いかけを往復させる (切り返し) ※推測させることが大切
 - (イ) 教師が自分のことを言う (自己開示)
 - (ウ) 相手の言ったことを受け止める (受容) 「Oh」「I see」等
- ※正しい表現で返す「What sports do you like?」「Soccer.」「Oh, you like soccer.」

イ やり取り (個と全体を往復する) 例

- (ア) JT 対 AET…目的、場面、状況が明確
「What ～～ do you like?」「I like ～～.」
- (イ) T 対児童…個別のやり取りをする
「Do you like ～～?」「What ～～ do you like?」等
- (ウ) T 対全体…②のやり取りを他に広げる
「I like ～～ too?」「Do you like ～～?」等



- (エ) T 対児童…個へ帰る
 「Do you like ～～?」「What ～～ do you like?」
 (オ) 以下同様

② 「1 by 1」について

既習の表現や本時に学んだ、伝えられるようにさせたい表現を児童の一人一人が教師と受け答えをしていく。その際、答えられなくても一巡するうちに他の友達の言っていることを繰り返し耳にすることで、どのように伝えればよいのかを理解し、2巡目に言えるようになっていく。

(2) 系統性のある学習内容の検討

日高市教育研究会英語部が作成した Can-Do リスト（学習達成目標と学習内容）を活用して、教科書の内容や表現を関係づけて一覧とし、6年間を見通してどのような内容を学習するのかを確認した。

時期	学習到達目標	教科書内容	学習する構文	学習する単語
6年3学期	◎自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。	中学校で入りたい部活動や楽しみたい行事について尋ねたり答えたりできる。	Unit 9 8時間 I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join. I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy. I want to [study hard / read many books / make many friends].	member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale. 【既出】動作、身の回りの物、スポーツ、職業、日課、曜日、状態・気持ち、行事、教科など
	◎	中学校で入りたい部活動や楽しみたい行事について尋ねたり答えたりできる。	Unit 9 8時間 What do you want to be. I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.	be, luck, future, chalk. 職業 (artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper). 【既出】職業、動作、動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)、スポーツ、動物、飲食物、状態・気持ち、身の回りの物、教科
			What's your best memory.	best, memory, shrine. 行事 (school trip, field trip, volunteer day,

【成果と課題】

○成果

- ・教師、児童ともに進め方を理解し、安心して授業を展開することができている。
- ・教師が授業の展開を計画するとき、目的に合わせた活動を設定できるようになってきた。






△課題

- ・各職員の統一のスタイルによる授業実践を積み重ね、改善していく。
- ・学習展開の中で、活動を通して児童が課題に気づき、設定していけるようにする。
- ・取り組みに対する変容の見届け方を検討する。

→振り返りカードの内容の検討と改善

…今まで評価の視点としていた BEST (B…Big and clear voice, E…Eye contact, S…Smile, T…Try) にとどまらず、本校の課題であるコミュニケーションに必要な「相手の言いたいことをわかってほしいのか。」「自分の伝えたいことを相手に伝えられたのか。」を児童の自己評価により変容を見取っていく。

(案)

日づけ	こうも	評価
/	自分の伝えたいことを、相手に伝えられましたか。	◎ ○ △
	相手の言いたいことを分かるうとして、聞きましたか。	◎ ○ △
	そのために使ったものはどれですか。	
	 B…Big and clear voice (大きく、はっきりした声)  E…Eye contact (相手の目を見て)  S…Smile (笑顔で)  T…Try (自分から挑戦)  G…Gesture (身ぶり、手ぶらを使って)	
Comments (わかったことや気づいたこと)		